

熱中症

に気をつけよう！

こまめな
水分補給



冷却グッズを
活用しよう



適切な
塩分補給



涼しい
服にしよう



＜WBGTによる競技実施判断の目安＞

WBGT 25度以上	熱中症予防の観点から、水分補給や暑熱対策の機会を適宜設ける。
WBGT 28度以上	・水分・塩分補給や休憩を十分にとる。 ・競技場内の全ての人に向けた注意喚起を行う。 ・暑熱環境下での長時間にわたる活動を避ける。 ・主催者によって設置する対策本部にて、危機管理および緊急時の対応方針に準じ、WBGT31度を超えた場合の対応（中止・中断・延期・競技時間の変更等）について協議を行う。
WBGT 31度以上	・日本スポーツ協会の熱中症予防運動指針、WBGTが31度以上の場合は「運動は原則中止」に基づき、WBGTが31度以上となった場合には、原則として中止・中断または延期とする。

＜暑熱環境下における対応とご協力のお願い＞

近年の気候変動に伴い、猛暑による競技者および関係者への健康影響がより深刻化しています。本大会の開催において、競技者・審判・関係者・観客の安全と健康を守ることを最優先とし「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」（公益財団法人日本スポーツ協会）に基づき、以下の処置を取ることと致します。

- (1) 競技順・競技開始時刻は、タイムテーブル通りとする。
- (2) フィールドの試技は2回とする。
- (3) 競技場雨天走路は送風機を設置し、選手待機場所とする。
※無理せず我慢できない場合は、救護室（競技役員は審判控室）で休んで下さい。
- (4) ゴール・選手待機場所に水を張ったバケツ等を準備する。
- (5) 競技場所に巡回して見回り・声掛けする
- (6) 氷、塩タブレット、経口補水液、スポーツ飲料も多めに用意します。
必要な場合は受付に申し出て下さい。

決して無理をなさらないようお願い致します。
参加する皆さん各々でも水分多めに準備、熱中症対策を万全にお願ひ致します。